

テレビ小山放送 2021年放送番組審議会 議事録

本年の放送番組審議会は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大が続いた事から5月の開催を延期し、書類による審議となりました。

9月下旬に各委員に対し審議資料を送付し、全ての委員から回答を頂きました。

審議委員 神山 宜久委員 渡辺 順一委員 島村 志津夫委員 諏訪 ちひろ委員
安藤 良子委員 尾林 正人委員 篠原 正委員 鈴木 孝委員

議事① 放送したレギュラー番組・特別番組についての感想・意見・質問

●「おやまニュース50」について

- ・頼もしい情報源となっているが、時々物足りないと感じる。ランクアップして欲しい。
- ・ほぼ毎日見ているが、前後のCMを削って2～3分増やして欲しい。

回答：ニュース放送については放送直前に、誤報を防ぐ目的で担当者同士のプレビューを行う他翌朝、放送職員でレビュー機会を設けレベルアップを図っております。

CM放映については、5分枠の中での放映のため視聴者が物足りなさを感じる一因になっている一方、弊社にとっては貴重な収入源であることから来春の番組改編で放送枠の拡大を検討しております。

●「ふれあいネット」などレギュラー番組について

- ・街の話題を取り上げ、知らなかった情報が得られて有難い。話題探しが大変だと思うが頑張ってもらいたい。
- ・コロナ禍の影響で多数のイベントが中止になり放送材料に不自由したと思うが、丁寧な番組作りをしており高く評価したい。
- ・新型コロナ関連報道は大変ありがたい。地元テレビ局の強みを生かしている。
- ・マンネリ化が一番の大敵である。良い番組作りをお願いしたい。

回答：レギュラー番組「ふれあいネット」は、新型コロナ感染拡大「第5波」による取材数減少で今年9月からの2カ月間、毎週月曜更新から10日間更新とさせて頂きました。

その一方で、苦境に立つ飲食店や市民応援企画としてテイクアウト紹介や自治会支え合い活動を集めて放送するなど、コロナ禍での取材活動を続けております。

今後も、有意義な市民活動を追うと共に必要な情報を伝えるべく、努力を重ねていきます。

●特別番組について

- ・お正月特別番組「小山の話芸」はコロナ禍でも楽しめる番組だと思う。今後も続けて欲しい。
- ・故船田章元市長の追悼番組として放送した平成10年収録 船田氏講演会の特別番組がとてもタイムリーだった。テレビ小山の価値を示した放送だったと思う。今後も、アーカイブを生かし小山市民にとっての郷土愛の支えになって欲しい。
- ・「小山の花火 生中継」はアツという間の素敵な放送だった。来年に期待したい。

- ・「分散型 小山の花火」の取り組みは市民に希望を与えた。
- ・コロナ禍で保護者参加が制限された中での学校行事の放送は、地元テレビ局の面目躍如である。
- ・スポーツ大会生中継は、出場した地元選手や視聴者にとって良い思い出作りに繋がっている。これからも、各種目を配慮して放送を行ってほしい。
- ・特別番組は内容と放映時間に多少過不足があるがテレビ局の「売り」として良く出来ている。レギュラー番組などで、もう少し特別番組のPRを行ってほしい。

回答：今後も、大イベントの中継などコンテンツを増やす事に努めます。また、多くの市民に視聴して頂けるよう、コミチャンでの告知の充実を図っていきます。

議事② コミュニティチャンネルに対する意見・要望・質問

- ・コロナ禍の中でテレビ小山の真価を改めて発揮した年になった。臨場感あふれる数々の放送は市民にとって明るい情報を提供する手段となった。新型コロナについては予断を許さない状況が続くので、地域を元気にする放送をお願いしたい。
- ・編成方針を社員で共有し、生産性の向上を図りながら息の長い放送を続けて欲しい。
- ・行政テレビの番組を見やすい内容にして欲しい。
- ・中高年の市民は、ワクチン接種など新型コロナ関連の情報をコミュニティチャンネルや行政テレビから取得している。ケーブルテレビは地域における社会インフラの一つであり、今後も行政との連携を図って欲しい。

回答：行政と問題点を共有し、改善を図っていきます。

- ・ネット動画や配信コンテンツが拡大する中、ケーブルテレビとしての環境は厳しさを増している。強みは地元密着にあるので地元の良いところを常に探し出し、放送を続けて欲しい。
- ・インターネットを活用した番組のデマンド化を進めれば、視聴回数が増えるのではないかな。
- ・インターネット動画の普及によりテレビ離れが顕著な若者に対する取り組みが必要では。

回答：今年、テレビ小山では加入者サービスとしてインターネット配信サービス「みるプラス」を導入しました。コミュニティチャンネル番組配信の第1弾として「ふれあいネット」の配信を今年10月より開始しております。

- ・映像がきれいになって楽しみが増えた。見てもらえる放送を心がけて欲しい。
- ・開局初期から視聴しているが、全てが着実にレベルアップしている。今後の活躍に期待したい。
- ・通販番組やCS 紹介番組は必要なのか？

回答：コミュニティチャンネルにおいて、日中全ての時間で自社制作番組の放映は難しい事から収益性やCS 放送サービスのPRを考慮し、編成に組み込んでおります。

今後も放映継続を考えておりますが、放映内容の確認を行い改善に努めます。

- ・L字テロップ放送で新型コロナ感染状況が速報され、視覚でとらえられるようになった。また、地元出身選手やプロ棋士の活躍が速報で放送されており、応援に繋がる。
- ・新聞購読者が減り偏った情報を取得しがちな風潮がある中、街中のイベントや学校行事の放送は日常の暮らしの一端を知るのに貴重な役割を果たしている。

- ・「社会を明るくする運動」のCM放送は市民への啓発に加え、更生保護に携わる方たちを勇気づけた。
- ・東京五輪、パラリンピックに関わった地元関係者を取材し、来年のとちぎ国体に繋がる放送を企画してみてはどうか？

回答：来年のとちぎ国体と全国障害者スポーツ大会では、弊社エリア内での実施競技もあるため企画立案を進めて参ります。

- ・道の駅思川でのヘリコプター遊覧飛行を活用して空中撮影を行い、番組間の空き時間に放送してみてはどうか？

また、高齢者の視聴達帯に紙芝居など懐かしさを感じるような番組を放送してみてはどうか？

回答：昨年から早朝の時間帯に落語などの古典芸能に特化した寄席チャンネルの放映を行っており好評を頂いております。今後、更なる企画を検討してまいります。

議事③ テレビ小山放送の事業計画に対する意見・要望・質問

- ・小山市と野木町全域、上三川町の一部がケーブルテレビで繋がった事は素晴らしい。テレビ小山が中心となって交流が出来るようになれば、より素晴らしいと思う。
- ・コロナ禍で広告収入に影響が大きいと思うが、どのような状況になっているか？

回答：この1年間は新型コロナの影響により、飲食業等からの新規クライアント獲得が難しい状況でした。そのような中、コミュニティチャンネルとコミュニティFM「おーラジ」の広告を統括する弊社の担当部署では各方面への営業活動を活発に行い、前年比で売上増を達成しております。

- ・加入を呼びかける折込広告を行っているが、割引の宣伝より自主放送の番組案内を中心とした方が良いのでは？

回答：ケーブルテレビ未加入の皆様に向けた加入キャンペーンや新サービスおよび放送内容の周知は、加入世帯の増加を目指す上で重要な課題となっています。今後、SNSの活用に重点を置きながら番組案内を含めた弊社の事業案内を展開していく予定です。

以上